



寒くなるこれからの季節

水道管にも冬支度をしよう！

寒さが厳しくなってくると水道管や水道メーター等が凍結し、水が出なくなったり、破裂したりすることもあり、高い修理費用がかかってしまう場合もあります。ちょっとした準備で防ぐことができますので、ご家庭でできる防寒対策を行いましょう。

凍結から水道管を

守るために

◆特に凍結しやすい場所

- ・風当たりの強い所にある水道管やメーター
- ・北向きで日陰にある水道管やメーター
- ・むき出しになっている水道管
- ・家の外にある蛇口

◆こんな時には注意しよう

- ・外気温がマイナス4度以下になった時
- ・旅行などで家を留守にするなど、長期間水道を使用しない時

◆露出している水道管や蛇口を保温

水道管や蛇口に保温材や毛布等を巻き付け、水に濡れて凍らないようにその上から隙間なくビニールテープ等でしっかり巻いてください。



◆メーターボックス内を保温

メーターボックス内に保温材（発泡スチロールや毛布や布切れ等）を入れ、水道メーター等を保温してください。保温材の上からビニールなどを巻いて濡れないようにしてから、メーターを上下左右から保護するように取り付けてください。



◆水を出しておく

翌朝特に冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さぐらいの水を少しずつ出しておくのも有効ですが、出した分の水については、料金がかかりますので出し過ぎにはご注意ください。お風呂の浴槽などにためるようになって有効活用しましょう。

凍結防止の準備

◆ぬるま湯をかける

凍結して水が出ない時には、自然に溶けるのを待つか、蛇口をいっぱいに開けて、凍った部分にタオル等をかぶせ、その上からぬるま湯をゆつくりとかけてください。

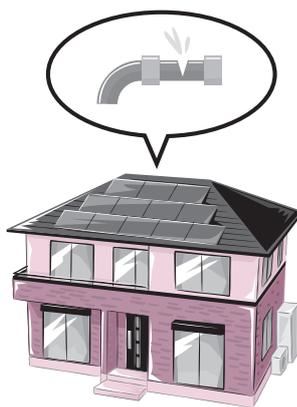
熱湯を一気にかけるとひび割れや破裂を起こすことがあるので注意しましょう。



破裂してしまったら

水道管が破裂した時は、メーターボックス内の補助止水バルブを閉めて水を止めます。

応急処置として破裂した部分に布かテープをしっかり巻いて、「市指定給水装置工事業者」へ修理の依頼をしてください。



水道料金が増えたら

◆漏水していないかチェック！

冬は、凍結による水道管の破裂により漏水が発生しやすい環境となっています。「急に水道料金が高くなった」「いつも地面または壁が濡れている」ということはありませんか。このような場合は一度水道メーターをチェックしてみましょう。

家庭内の水道の蛇口を全部閉めて、トイレや給湯設備等でも水を使用していない状況にしてから、水道メーターを見てください。この時、メーターのパイロット(銀色のコマ)が回転していれば漏水の可能性がります。

お早めに「市指定給水装置工事業者」に修理を依頼してください。なお、地下漏水等については水道料金の減免制度がありますので、水道課または各総合支所経済建設課にお問い合わせください。

お早めに「市指定給水装置工事業者」に修理を依頼してください。なお、地下漏水等については水道料金の減免制度がありますので、水道課または各総合支所経済建設課にお問い合わせください。

お早めに「市指定給水装置工事業者」に修理を依頼してください。なお、地下漏水等については水道料金の減免制度がありますので、水道課または各総合支所経済建設課にお問い合わせください。



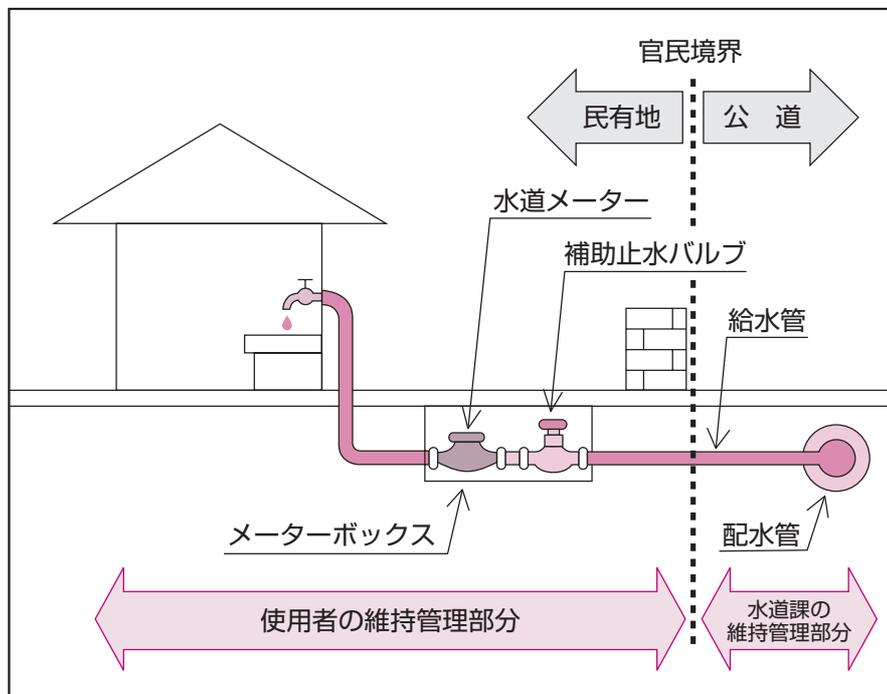
パイロット

給水装置の修理は誰がするの？

道路に埋設している水道管(配水管)から分かれて家庭まで引き込まれた給水管、止水栓、水道メーター、蛇口などの給水用具をまとめて「給水装置」といいます。これら給水装置は、水道メーターを除いて使用者(所有者)の財産となります。給水装置のうち公道部分については市で維持管理していますが、宅地内における凍結による水道管破裂や老朽化による漏水等の修理費用については使用者(所有者)の負担となります。(左図参照)

道路に埋設している水道管(配水管)から分かれて家庭まで引き込まれた給水管、止水栓、水道メーター、蛇口などの給水用具をまとめて「給水装置」といいます。これら給水装置は、水道メーターを除いて使用者(所有者)の財産となります。給水装置のうち公道部分については市で維持管理していますが、宅地内における凍結による水道管破裂や老朽化による漏水等の修理費用については使用者(所有者)の負担となります。(左図参照)

漏水は、大切な水を無駄にするだけでなく、ご家庭では思わぬ出費ともなりますので、日頃から凍結防止や給水装置の点検に努めましょう。



■問い合わせ■

水道課 ☎52-0427
 各総合支所 経済建設課 (代表)
 山方 ☎57-2121 美和 ☎58-2111
 緒川 ☎56-2111 御前山 ☎55-2111